



裏磐梯だよい

磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター

No.54
2012年5月

季節の一枚 ⑯

「新緑と桜の桧原湖」

いつもよりずいぶんと遅れてやってきた今年の春。ゴールデンウィークが終わるころになってようやく裏磐梯のオオヤマザクラが咲き始めました。桧原湖をぐるりと囲む山の斜面にはぱつりぱつりと咲いている薄桃色が目にとまります。ブナの芽吹きのキミドリ色やカエデの赤い芽吹きの色とあいまって、爽やかでやさしい色の季節です。このころには桧原湖を渡る風もやわらかくなり、車の窓をいっぱいに開けて走っていると、土やみどりのにおいと一緒に鳥たちのにぎやかな声があふれるほどに流れ込んでいます。寒暖差の大きい日が続いくなが、毎日少しずつですが確実に山々がみどりに覆われていきます。（撮影日 2012年5月10日）

年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ

■ 裏磐梯のはてな？ ■ 来館者のみなさんによく聞かれる「？」にお答えします

「どうして五色沼？どの沼が五色沼？」

第一弾の「？」は、年間を通して
よく聞かれるこの質問！



五色沼のひとつ「弁天沼」

裏磐梯の五色沼は複数ある沼の総称で「五色沼湖沼群」とも呼ばれます。沼の数は大小30以上あるともいわれ、五色沼自然探勝路ではそのうちの十数の沼を見ることができます。「5つの色の違う沼」や「5色に変わる沼」という意味ではなく、沼ごとや同じ沼でも季節や天候によって様々な色に見えることを「五色」とあらわしたのでしょうか。例えば、「瑠璃沼」や「青沼」は名前の通りの色をしており、沼の縁が鉄さび色の「赤沼」は冬～春は黄緑色が強く、夏～秋には青味が強く、季節によって驚くほどに色味が変わります。これらの神秘的な沼の色の秘密は、館内の展示やVTRでも紹介していますので、ぜひ謎解きにご来館ください。

…ちなみに福島県周辺にはいくつかの五色沼と呼ばれる「沼」や「湖」、「堀」があるようです。

- ① 福島県福島市 一切経山の山腹にある火口湖 太陽光の具合で刻々と微妙に変化することに由来。
- ② 山形県西川町 月山の麓、志津温泉にある沼 沼の周りの景色が季節によって色を変え、それを映しこむ様子に由来。
- ③ 宮城県蔵王町 「御釜」で知られる蔵王連峰の火口湖 太陽光の当たり方で様々に色をえることに由来。
- ④ 宮城県仙台市 仙台城の堀の一部 由来は不明。おそらく、水面の色が変わって見えるからとのこと。
- ⑤ 栃木県日光市 日光白根山にある堰止湖 確かな由来は不明。太陽光や見る位置によって水面の色が変わって見えることに由来しているのではないかとのこと。

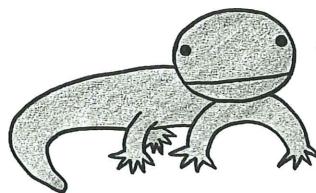


■ やってみよう！ ■ 裏磐梯やいつも暮らしの中で出来る自然観察、自然体験を紹介します

第一回目は、ビジターセンタースタッフの「やってみよう！」。
それぞれが興味を持ったものを追跡しながら「自由研究」します。

つる植物の観察(こんの)

がっちり絡んだ「つる植物」
写真やスケッチも交えて
一年間観察していきます。



クロさんは、どんな風に大人になるんだろう？(わしお)

近くの池に浮かぶ白い塊。クロサンショウウオの卵のようですが…写真で経過を追います。



今日の磐梯山(しろがね)

位置や角度、季節によって様々な表情を見せる会津のシンボル「磐梯山」を追いかけます。



身近な野草観察(こばやし)

地面の一角。雑草と呼ばれる草花がどう移り変わるか、写真を撮りながら名前も調べます。



ちょっとしたことでも、時間をかけて調べていくと大きな変化や発見があるかもしれません。この自由研究は随時更新していきます。みなさんも一緒に経過を観察しませんか？

■ 散策へお出かけの前に… ■

皆さんは自然散策に行く前にどんな準備をしていますか？

散策路の距離や時間、その日の天候や気温などを調べ、服装や履物、持ち物を準備していると思います。では、散策に行く場所がどういう所なのか調べているでしょうか？

自然散策と言っても国立公園、国定公園、都道府県立自然公園など様様で、その場所ごとにルールがあります。裏磐梯は磐梯朝日国立公園の中にあり、自然を守るために次のようなルールがあります。



動植物を傷つけたり採取したりしない / 歩道以外へ立ち入らない

ゴミは持ち帰る / ペットは必ずリードをつけ、糞尿処理をする

※特に五色沼自然探勝路周辺や磐梯山などは特別保護地区に指定されているため、石や落ち葉などの採取も禁止されています。

しかし、五色沼ではルールを知らずに訪れる方も多く、沼を少しでも近くで見ようと歩道を外れ、そこにあった植物が踏まれて土が固められ裸地化してしまっている所もあります。

そこで、これらのルールを事前にお知らせするとともに、環境省裏磐梯地区パークボランティアの皆さんのが保全活動を行っています。その内容は、踏まれて弱ってしまった植生を回復するために歩道との境界線を示すロープを張ったり、歩道から外れて歩く原因となるぬかるみを防ぐための水抜きや木道の掃除などです。裏磐梯の自然を守り、訪れる皆さんに楽しんでいただくための取り組みです。



今ある自然を永くみんなが楽しめるように一人一人がルールを守って自然散策を楽しみましょう。

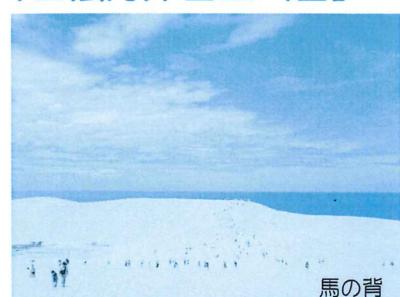
■ 日本の国立公園 ■

国立公園で働く方にその国立公園の魅力を訊きます

国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在 30 の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園です。



「山陰海岸国立公園」



馬の背

昭和 38 年 7 月 15 日指定、陸域面積 8,783ha、京都府、兵庫県、鳥取県

鳥取砂丘パークサービスセンター(自然公園財団 鳥取支部)阿部千春さんよりご紹介いただきます。

東は京都府・網野海岸～西は鳥取砂丘まで、全長 75km にわたる山陰海岸国立公園。海岸線を中心とした横に細長い公園内では、日本海の荒波が作り出した荒々しく力強い岩石海岸と視界を遮るものがない開放的な砂浜海岸という対照的な海岸景観が私たちを楽しませてくれます。



当センターがある鳥取砂丘は東京ドーム 30 個がすっぽりと収まってしまう広大な海岸砂丘です。入口階段を上り、砂丘に到着した皆さんを最初に魅了するのは真正面に見える「馬の背」という高さ 47m の砂の丘。砂に足をとられ、息を上げながら頂上まで登りきった人には、青い日本海と心地よい海風のご褒美が待っています。

つい「砂だけ」と思われるがちな砂丘ですが、風や雨によって様々な表情を見せ、日々変化する姿は私たちを飽きさせることはありません。また、鳥取砂丘には数多くの海浜植物や昆虫が生息し、それぞれがユニークな工夫をして砂丘という地で生き抜いています。皆さんにお伝えしたい魅力が山のようにあるのですが、ここではスペースが足りませんので、鳥取砂丘でお待ちしております。当センターでは砂丘の旬の見所情報やおすすめの散策コースをご案内しています。また、併設されたジオパークセンターでは、砂丘の成り立ちや風紋のでき方などを分かりやすく解説しています。ぜひ砂丘散策の前にお立ち寄りください。



◆ 「鳥取砂丘パークサービスセンター」 <http://www.bes.or.jp/tottori/>

ようこそ！ビジターセンターへ

裏磐梯ビジターセンターの見どころを紹介します

手づくり展示を更新しました！

季節が冬から春に移りかわるのに合わせて館内の展示も入れ替えました。

前ページでも紹介のあった「スタッフ紹介+やってみよう」や冬籠りから覚めた「ツキノワグマの展示」で皆さんのクマに関する質問に答えるコーナーの設置、特定外来生物「ウチダザリガニクイズ」のリニューアル、雪を詰めた雪室の見学室の再オープンなどなど、いつ訪れても楽しいビジターセンターへ、季節とともに変化していきます。



スライドトークを開催しました

例年以上に残雪が多かった今年のゴールデンウィーク。五色沼周辺にも雪が残り、みなさん裏磐梯の遅い春に驚いていらっしゃいました。ビジターセンター横に残っていた雪山では、記念撮影をしたり、Tシャツ姿の元気な子どもたちがよじ登って遊んだりしていました。ビジターセンターでは期間中におよそ4,600人のお客様を迎えて、磐梯山の噴火を紹介するスライドトークや、クロサンショウウオの卵を観察するワンポイントウォッチングを開催しました。



お知らせ

イベントの詳細は、5月下旬にウェブサイトに掲載します

裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会主催イベント



「わくわく散歩」



五色沼湖沼群で一番大きな沼の毘沙門沼周辺を散策するミニガイドツアーです。動植物や磐梯山の噴火の痕跡を観察しながら一緒に歩きませんか？

開催場所：ビジターセンターから毘沙門沼周辺

申込方法：当日、ビジターセンターにご来館の上お申込下さい。(先着順、定員になり次第〆切)

裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会主催イベント



「スライドトーク」



季節に合わせた内容のスライドトークを開催します。スライドトークを見てから散策すると、新たな発見があるかもしれません。

開催場所：ビジターセンター内レクチャールーム

申込み不要

知っておいてほしいこと

五色沼自然探勝路を始め、自然探勝路の多くは舗装されていない山道です。天候によっては、水たまりやぬかるみなどもあります。

また、これから季節は、ハチやヘビなどの活動も活発になります。トレッキングシューズ、長袖長ズボン、帽子など服装を整えて散策にお出かけ下さい。

※磐梯山の山開きは5月27日(日)です



「裏磐梯だより」について

■ ウェブサイトからもご覧いただけます！

年間6回(奇数月)の発行ごとに更新しますのでどうぞおたのしみに！

■ 総集編 vol.1～3 販売中!!

※各1冊 1,300円(税込)

裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。

■ 郵送でお届けする定期購読も！

ご希望の場合は、ご住所とお名前を明記の上、80円切手6枚(1年間6回の送付分)を同封して、裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

開館時間

◆ 夏季(4月～11月) 午前9:00～午後5:00

◇ 冬季(12月～3月) 午前9:00～午後4:00

休館日 火曜日、年末年始 (火曜祝日の場合は開館し、翌日休館)

〒969-2701 福島県耶麻郡北塙原村大字桧原字剣ヶ峯 1093

TEL 0241-32-2850 / FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>

入館無料

ビジターセンターの窓から…森では夏鳥だけでなく散策を楽しむ方々の声がにぎやかになってきました(こんの)／キイロスズメバチが巣作りを始めました。最初は母ちゃん一人でせっせと作業。やっぱり、母ちゃんはすぐえなあ(わしあ)／芽吹きから新緑で彩られるまで、早いこと早いこと。動植物の記憶と心の準備が追いつきません(しろがね)／あたたかくなり通勤途中の道端に色々お花が咲いてきました。ゆっくり楽しむには早起きしないと…(こばやし)